

『Mind Charging』

第 98 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 8 月 28 日

ナイチンゲールの名言



I never lose an opportunity of urging a practical beginning, however small, for it is wonderful how often in such matters the mustard-seed germinates and roots itself.

物事を始めるチャンスも、私は逃さない。たとえマスタードの種のように

小さな始まりでも、芽を出し、根を張ることがいくらでもある。

患者のいかなる症状の変化も見逃せない看護師という立場をポジティブに変換できている言葉だと感じます。日々の暮らしの中でなんとなくやり過ごしてしまっている瞬間がたくさんあると思いますが、実はその中にも自分を向上させる情報がたくさん隠されていると思います。そして、それは自分が幸せになるための貴重な方法であり、きっかけとなるもので、そういう意味では『宝物』と呼んでも大袈裟ではないはずです。

人生は『努力』というプレッシャーですが、『宝探し』だと捉えられればポジティブかつアグレッシブに進んでいけそうな気がします。日常に隠された宝物をたくさん見つけましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

フローレンス・ナイチンゲール(Florence Nightingale、1820年5月12日 - 1910年8月13日)は、イギリスの看護婦、社会起業家、統計学者、看護教育学者。近代看護教育の母。病院建築でも非凡な才能を発揮した。クリミア戦争での負傷兵たちへの献身や統計に基づく医療衛生改革で著名。国際看護師の日(5月12日)は彼女の誕生日である。ロンドンの聖トーマス病院に付属してナイチンゲール看護学校を設立、これは世界初の宗教系でない看護学校であり、現在はキングス・カレッジ・ロンドンの一部となっている。(Wikipedia 参照)